

未来に翔ける スタート予算

平成29年は伊豆の国市が誕生してから13年目にあたり、平支でいえば二巡して新たなスタートを迎える年です。平成29年度は、新たなまちづくりを行ううえで、最も重要な計画である第2次伊豆の国市総合計画※が動き始めます。

第2次総合計画では、伊豆の国市の将来像「ほんわり湯の国、美しい国、歴史文化薫る国、未来を拓く伊豆の国」の実現に向け、7つの基本方針を定めています。平成29年度当初予算では、この7つの基本方針に沿ってさまざまな施策を行い、赤ちゃんからお年寄りまで、みんなが住んでよかった、訪れてよかったと思えるまちづくりを進めていきます。

※「第2次伊豆の国市総合計画」は政策戦略課窓口でご覧になれます。また、概要版を広報4月号と一緒に配布しています。

1 豊かな自然に 抱かれる伊豆の国市

■広域廃棄物処理施設整備事業
9341万6千円

伊豆市伊豆の国市広域廃棄物処理施設の整備に向けた一部事務組合への負担金を支出します。平成34年度稼働に向けて準備を進めます。

■古奈地区公園整備事業
2640万円

大観宮跡地の市有地に、古奈温泉街の憩いの場となる公園を整備しています。平成30年度の完成を予定しています。

■花のまちづくり・花のおもてなしの推進
400万円

■温泉保護対策基金管理事業【新規】
1000万円

■伊豆長岡温泉保護対策事業
2874万4千円

2 伊豆の国市に しごとをつくる

■6次産業化・地産地消の推進【拡充】
716万1千円

所の提供と学習援助を行います。

■予約型乗合タクシー運行事業【拡充】
608万7千円

■保育園園舎改修事業【新規】
340万円

■感染症予防事業【新規】
198万5千円

■新生児聴覚検査【新規】
164万5千円

■産後ケア事業【新規】
136万8千円

6 安全で安心な伊豆の 国市のまちづくり

■バス・鉄道利用促進事業【新規】
1731万7千円

路線バスや鉄道の利用促進、高齢者ドライバーの免許証返納の一助とするため、75歳以上の高齢者に対し路線バス、鉄道利用券を交付します。

■斎場整備事業【拡充】
5600万5千円

老朽化した長岡斎場に替わる新たな火葬場建設に向けた基本設計、実施設計、地質調査、生活環境影響調査などを行います。

地域おこし協力隊により、農産物直売施設「大仁まごころ市場」の経営支援、農産物の情報発信などを行います。

■葦山中央農道拡幅改良事業【新規】
9309万9千円

葦2・3号線（通称葦山中央農道）の老朽化した農業用水路を改修し、道路部分を拡幅する整備を行います。

■農業機械等導入補助【新規】
300万円

■住宅新築及びリフォーム助成
1550万円

■店舗リフォーム助成事業
1850万円

3 伊豆の国市に新しい ひとの流れをつくる

■伊豆の国DMO(※)の形成【拡充】
1970万5千円

地域おこし協力隊や自主的に活動するまちづくり団体などと協力・連携し地域資源を活用した着地型観光商品企画・実践するとともに、効果的な観光プロモーション活動を行い、魅力ある地域づくりを目指します。

※DMOとは(Destination Marketing/Management Organization)の略。

7 みんなで創る 伊豆の国市

■ブロードバンド基盤整備事業【新規】
1億5125万円

市内山間部と平野部の情報通信格差を是正するため未整備地域に光ファイバー網を整備します。

■庁舎建設基金【新規】
1億円

今後予定している庁舎建設のために基金を設置し、積み立てをします。

■市民提案型パートナーシップ事業
141万6千円

■広聴事業【新規】
144万6千円

■市長選挙・市議会議員選挙公営事業【新規】
787万1千円

■市役所財務課
☎055(948)1414

未来に翔ける スタート予算

平成29年は伊豆の国市が誕生してから13年目にあたり、平支でいえば二巡して新たなスタートを迎える年です。平成29年度は、新たなまちづくりを行ううえで、最も重要な計画である第2次伊豆の国市総合計画※が動き始めます。

第2次総合計画では、伊豆の国市の将来像「ほんわり湯の国、美しい国、歴史文化薫る国、未来を拓く伊豆の国」の実現に向け、7つの基本方針を定めています。平成29年度当初予算では、この7つの基本方針に沿ってさまざまな施策を行い、赤ちゃんからお年寄りまで、みんなが住んでよかった、訪れてよかったと思えるまちづくりを進めていきます。

※「第2次伊豆の国市総合計画」は政策戦略課窓口でご覧になれます。また、概要版を広報4月号と一緒に配布しています。

1 豊かな自然に 抱かれる伊豆の国市

■広域廃棄物処理施設整備事業
9341万6千円

伊豆市伊豆の国市広域廃棄物処理施設の整備に向けた一部事務組合への負担金を支出します。平成34年度稼働に向けて準備を進めます。

■古奈地区公園整備事業
2640万円

大観宮跡地の市有地に、古奈温泉街の憩いの場となる公園を整備しています。平成30年度の完成を予定しています。

■花のまちづくり・花のおもてなしの推進
400万円

■温泉保護対策基金管理事業【新規】
1000万円

■伊豆長岡温泉保護対策事業
2874万4千円

2 伊豆の国市に しごとをつくる

■6次産業化・地産地消の推進【拡充】
716万1千円

所の提供と学習援助を行います。

■予約型乗合タクシー運行事業【拡充】
608万7千円

■保育園園舎改修事業【新規】
340万円

■感染症予防事業【新規】
198万5千円

■新生児聴覚検査【新規】
164万5千円

■産後ケア事業【新規】
136万8千円

6 安全で安心な伊豆の 国市のまちづくり

■バス・鉄道利用促進事業【新規】
1731万7千円

路線バスや鉄道の利用促進、高齢者ドライバーの免許証返納の一助とするため、75歳以上の高齢者に対し路線バス、鉄道利用券を交付します。

■斎場整備事業【拡充】
5600万5千円

老朽化した長岡斎場に替わる新たな火葬場建設に向けた基本設計、実施設計、地質調査、生活環境影響調査などを行います。

地域おこし協力隊により、農産物直売施設「大仁まごころ市場」の経営支援、農産物の情報発信などを行います。

■葦山中央農道拡幅改良事業【新規】
9309万9千円

葦2・3号線（通称葦山中央農道）の老朽化した農業用水路を改修し、道路部分を拡幅する整備を行います。

■農業機械等導入補助【新規】
300万円

■住宅新築及びリフォーム助成
1550万円

■店舗リフォーム助成事業
1850万円

3 伊豆の国市に新しい ひとの流れをつくる

■伊豆の国DMO(※)の形成【拡充】
1970万5千円

地域おこし協力隊や自主的に活動するまちづくり団体などと協力・連携し地域資源を活用した着地型観光商品企画・実践するとともに、効果的な観光プロモーション活動を行い、魅力ある地域づくりを目指します。

※DMOとは(Destination Marketing/Management Organization)の略。

7 みんなで創る 伊豆の国市

■ブロードバンド基盤整備事業【新規】
1億5125万円

市内山間部と平野部の情報通信格差を是正するため未整備地域に光ファイバー網を整備します。

■庁舎建設基金【新規】
1億円

今後予定している庁舎建設のために基金を設置し、積み立てをします。

■市民提案型パートナーシップ事業
141万6千円

■広聴事業【新規】
144万6千円

■市長選挙・市議会議員選挙公営事業【新規】
787万1千円

■市役所財務課
☎055(948)1414

平成29年度 当初予算概要

世界遺産葦山反射炉を後世に引き継ぐための現状調査を行的確な修理保全計画を立案します。また、入場料収入の一部を葦山反射炉保全管理基金に積み立てます。



4 歴史に学び、未来を 拓く伊豆の国市

■葦山反射炉の修理調査・葦山反射炉保全基金積立
8487万7千円

世界遺産葦山反射炉を後世に引き継ぐための現状調査を行的確な修理保全計画を立案します。また、入場料収入の一部を葦山反射炉保全管理基金に積み立てます。

5 子育ても人生も 楽しい伊豆の国市

■こどもインフルエンザ予防接種支援事業【新規】
694万9千円

中学生以下のこどもを対象に1回1,000円、1人2,000円を上限として補助します。

■こどもの学習支援事業【新規】
356万円

生活困窮世帯のこどもに対し、居場

4 歴史に学び、未来を 拓く伊豆の国市

■葦山反射炉の修理調査・葦山反射炉保全基金積立
8487万7千円

世界遺産葦山反射炉を後世に引き継ぐための現状調査を行的確な修理保全計画を立案します。また、入場料収入の一部を葦山反射炉保全管理基金に積み立てます。

5 子育ても人生も 楽しい伊豆の国市

■こどもインフルエンザ予防接種支援事業【新規】
694万9千円

中学生以下のこどもを対象に1回1,000円、1人2,000円を上限として補助します。

■こどもの学習支援事業【新規】
356万円

生活困窮世帯のこどもに対し、居場

■小学校施設維持補修事業（小学校トイレ改修設計）【新規】
797万8千円

■特別支援学級支援員事業【拡充】
1011万9千円

■市民交流センターの開館【新規】
1245万3千円

■郷土資料収集物保存施設整備事業【新規】
2572万7千円



未来に翔ける スタート予算

■特別会計ほか予算額■

■特別会計■ 133 億 3,130 万円

国民健康保険	72 億 3,000 万円
後期高齢者医療	5 億 1,900 万円
介護保険	41 億 4,300 万円
楠木及び天野揚水場管理	1,730 万円
簡易水道等事業	1 億 7,300 万円
下水道事業	12 億 4,900 万円

■上水道事業会計■ 10 億 5,343 万円

■基金の状況■

基金名	平成 29 年度末 残高見込額
財政調整基金	33 億 7,840 万円
減債基金	9 億 2,183 万円
福祉対策基金	7,210 万円
教育振興基金	2,307 万円
ふるさと・水と土基金	2,605 万円
環境基金	168 万円
ふるさと応援基金	1 億 1,868 万円
葦山反射炉保全基金	1 億 1,484 万円
志龍塾教育基金	1,457 万円
庁舎建設基金	1 億円
(新) 温泉保護対策基金	1,000 万円
土地取得基金	1 億 126 万円
収入印紙等購入基金	600 万円
その他	9 万円
国民健康保険 保険給付等支払準備基金	1 億 8,582 万円
国民健康保険 高額医療費資金貸付基金	900 万円
介護給付費準備基金	3 億 128 万円
楠木・天野揚水場 管理基金	3,500 万円
合計	54 億 1,967 万円

■市債の状況■

会計名	平成 29 年度末 残高見込額
一般会計	185 億 4,035 万円
簡易水道等事業特別会計	3 億 3,742 万円
下水道事業特別会計	40 億 1,229 万円
上水道事業会計	8 億 6,065 万円
合計	237 億 5,071 万円

※このうち約 60%は今後、普通交付税として組み込まれる見込みです。

■一般会計■

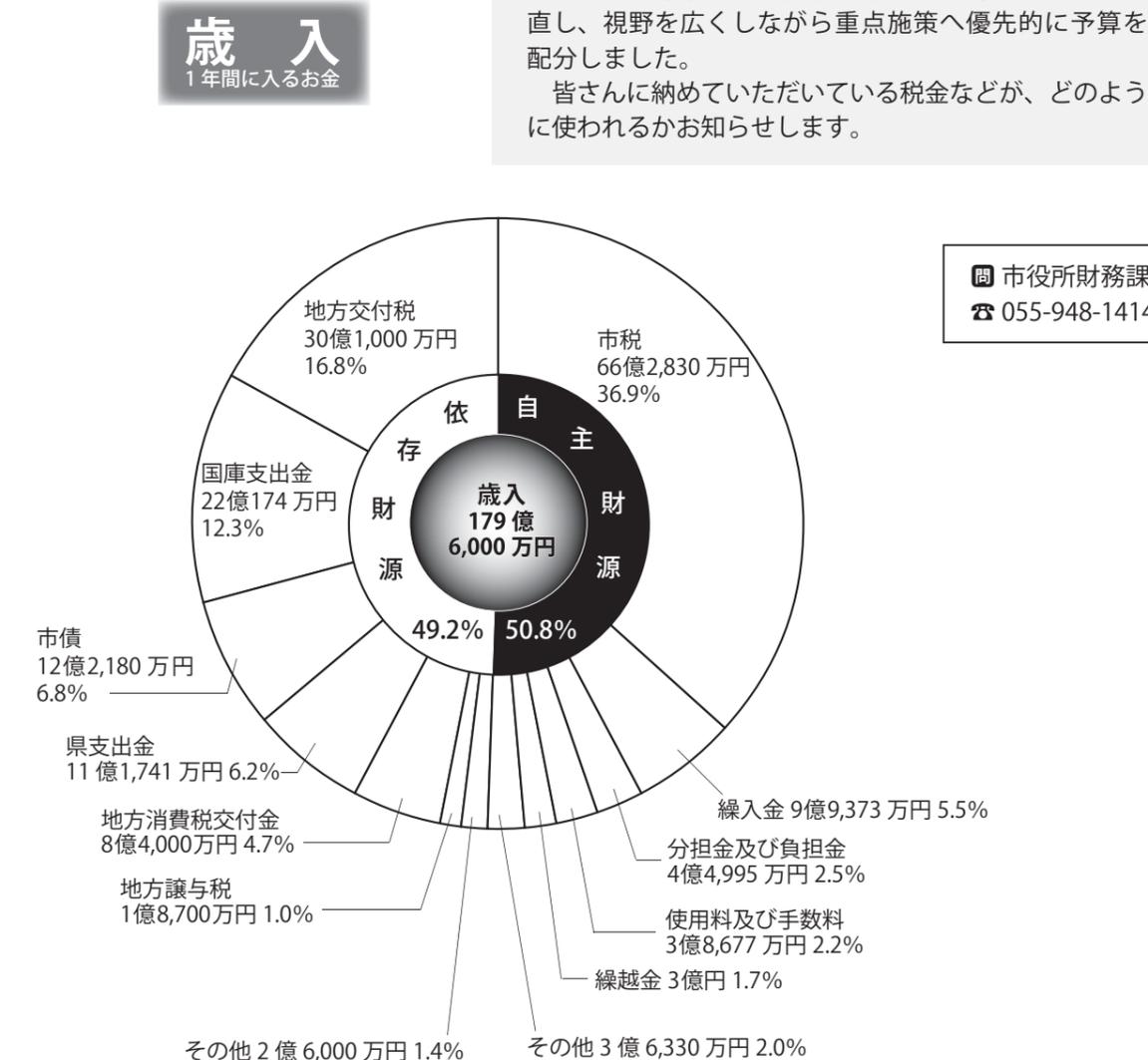
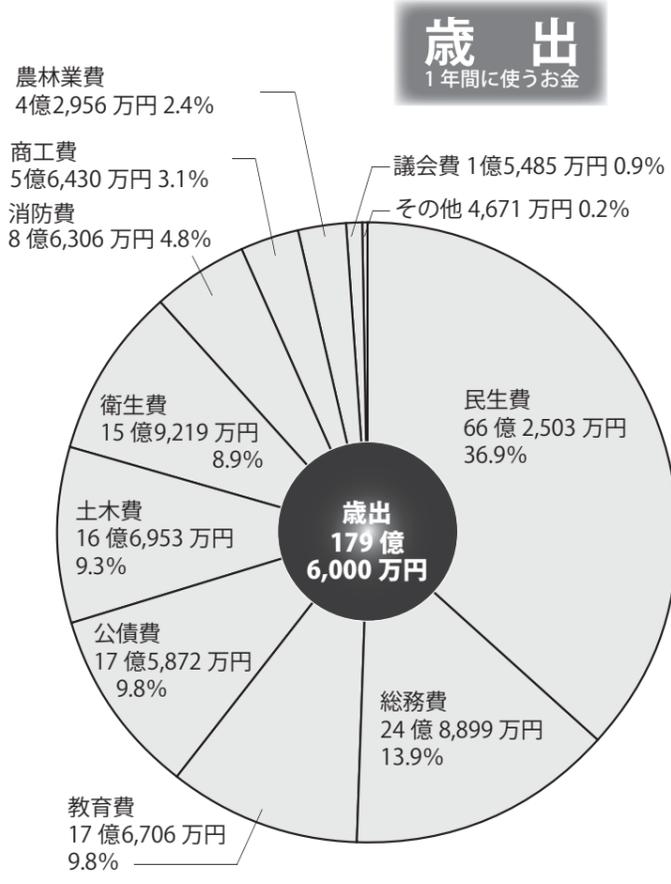
*一般会計とは、地方公共団体の中心となる会計で、行政運営の基本的な経費を表します。

179億6千万円

平成 29 年度の一般会計予算額は、179 億 6 千万円で、前年度に比べ 2 億円の減額となりました。

限られた財源の有効活用を図るため、事業を一から見直し、視野を広くしながら重点施策へ優先的に予算を配分しました。

皆さんに納めていただいている税金などが、どのように使われるかお知らせします。



市役所財務課
☎ 055-948-1414

市民一人あたりの予算
36万2,521 円の使い道
※平成 28 年 10 月 1 日現在の住民基本台帳人口 (49,542 人) で算出しています

